

## 温知館見学報告 ※1

- 1 実施校名 水俣市立久木野小学校
- 2 実施期日 平成30年11月19日（月）
- 3 実施会場 温知館（熊本県立図書館、くまもと文学・歴史館）
- 4 参加者 久木野小学校児童（13名）及び教職員・保護者等、計24名
- 5 概要

### （1）文学・歴史館見学（10：30～）

…はじめに文学・歴史館に入り、現在開催されているくまもと文学・歴史館秋季特別展示会「蒙古襲来絵詞と竹崎季長」で展示されている「蒙古襲来絵詞」や蒙古軍が実際に使用した「てつほう（鉄砲）」などの武器や装備等の展示物について、文学・歴史館の学芸員の説明を受けながら見学しました。小学生にも理解できるように分かりやすく噛み砕いて説明する学芸員の話に耳を傾けながら、参加者の皆さんは貴重な展示品の数々に見入っておられました。



〈「てつほう」の説明を受ける様子〉

### （2）図書館見学（11：00～）

…次に図書館に移動し、担当職員の先導で2階第1閲覧室と3階第2閲覧室及びそれぞれの閉架書庫を見学しました。まず2階の閲覧室を見学したあと閉架書庫に入り、2階カウンター担当の司書から2階で所蔵している本の種類や蔵書数などについて説明を受けました。子どもたちは書架に収められている本の多さにびっくりしていたようでした。そのあと3階に上がり、閲覧室を見て回ったあと閉架書庫に入って、3階カウンター担当の司書から3階で扱う資料について説明や紹介を受けました。なかでも、熊本出身の児童文学作家、原ゆたかさんの代表作で、子どもたちに大人気の「かいけつゾロリ」シリーズの付録付きの初版本について実物を見せながら紹介された時には、大人の方からも感嘆の声が聞こえてきました。普段は入れない場所や珍しい資料を見ることができ、参加者の皆さんにとって貴重な体験になったのではないのでしょうか。



〈2階の閉架書庫見学の様子〉



〈3階の閉架書庫見学の様子〉

※1…温知館とは、熊本県立図書館とくまもと文学・歴史館を合わせた愛称です。昭和60年（1985）に熊本近代文学館が併設された際、県民に広く募ってつけられました。

### (3) 子ども図書室見学・図書館クイズ（11：30～）

…最後に1階の子ども図書室に移動して室内を見学したあと、子どもたちは調べ学習コーナーの机に向かい、子ども図書室担当の司書が用意した資料をもとに、県立図書館の概要や利用のしかた、本の分類やラベルの仕組みなどについて学習しました。低学年の児童にはちょっと難しい部分があったかもしれませんが、最後までしっかり聞いてくれました。時間の都合で子ども図書室で実際に本を探してみる活動はできませんでしたが、たくさんの本に囲まれながら、図書館や資料について学んだり子ども図書室に置いてあるパスファインダー<sup>※2</sup>を見たりすることで、図書館を使って調べることへの関心を高めてくれたのではないかと思います。



〈資料をもとに学習している様子〉

## 6 まとめ

今回の水俣市立久木野小学校は、1年生から6年生までの全校児童と、校長先生をはじめとする教職員の皆さん、保護者、読み聞かせ協力員の方など、多彩なメンバー構成で当館を訪れてくださいました。今回は、文学・歴史館で展示されている「蒙古襲来絵詞」をはじめとする蒙古襲来に関する貴重な資料の見学ができたことで、子どもたちだけでなく、大人の方々にとっても見応えのある見学になったのではないのでしょうか。

また、同校は平成30年度から31年度にかけて、水俣市からの図書館教育に関する研究指定を受けられているようで、今回も、当館のほかに尚綱中学校図書館や熊本市内の書店を訪問されるなど、図書館や本について学ぶスケジュールが組まれていたようです。当館では、図書館見学に加え、1階の子ども図書室で図書館の利用方法や本の分類法、ラベルの記号の種類や意味などについて学習してもらいました。今回の体験が、学校図書館の利用の活性化や地域の図書館等に対する興味・関心、そして何より、本を読むことや図書館を使って調べることへの意欲の高まりにつながっていくよう願っています。

当館では、今後も様々な形での見学等を積極的に受け入れ、児童・生徒や大人の方々に、当館の概要や公共図書館の利用方法、調べる活動の進め方等について理解を深めていただく機会を提供していきたいと考えています。図書館の利用方法をはじめ、本や様々な資料等の活用法、熊本の文学や歴史などについて学びたい・学ばせたいとお考えの団体等がございましたら、ぜひ当館にご連絡ください。

最後に、全校あげて当館をご利用くださいました久木野小学校の皆さん、今回のご来館、誠にありがとうございました。またのご利用をお待ちしております。

※2…特定のテーマに関する各種の資料や情報の探し方などを紹介するもので、図書館の利用者教育のためのツールの一つです。現在、当館では計25種類のパスファインダーを作成し、1階子ども図書室でリーフレットとして提供するほか、ホームページでも公開しています。